

あるいて比也野

比也野里まちづくり委員会 広報部発行



へそ川柳

全国より三〇二五句 集まる

優秀作品まちづくり川柳大会で表彰

比也野里まちづくり委員会

で、昨年十月から今年三月に
わたり「へそ川柳」を募集し
ましたところ、三〇二五句に
及ぶ応募がありました

兵庫県川柳協会による厳選
な審査の結果次の作品が受賞
しました。

五月二十七日には、「日本の
へそ・まちづくり川柳大会」
を開催し、受賞作品の発表と
表彰式を行いました。

七月初めに全作品を掲載し
た作品集を発刊予定です。定
価は送料共で一、〇〇〇円で
す。

ご希望の方は、郵便局で定
額為替(千円分)を購入し、
住所・氏名と、「へそ川柳作品
集希望」と記入し、左記まで
お送りください。

送付先 西脇市野村町 西脇
郵便局 私書箱四十号

比也野里まちづくり委員会
問合せ先 小谷敏信
電話二二 三六二四

受賞作品と受賞者
へそ部門
(応募作品二五〇句)

最優秀賞
大切なことはおへそで考える
遠山 明 滋賀県草津市

優秀賞
真ん中がやっぱり似合うへの位置
浜田英伸 兵庫県明石市

西脇市日本のへそはここにあり
森田久義 兵庫県神戸市

佳作

へその緒が切れて始まる人の旅
岡松 敬 兵庫県赤穂郡
日本のへその生まれと胸を張り
青山 稔 兵庫県加西市

地図もって日本のへそに会いに行く
藤井幸子 広島県広島市
へそ曲がり治す薬はありません
堀 正和 兵庫県三田市

へそくりが貯まった頃に孫がくる
松阪 昭 兵庫県神戸市
比也野里雷さまが好きなまち
竹重満夫 山口県防府市

日本のへそで仲間の輪を作る
渡辺すみ子 兵庫県多可郡
かみなりもへそはとれない比也野里
西垣希代子 兵庫県氷上郡

自由部門(応募作品四七五句)
最優秀賞
地球儀をまわすこともの声がする
西秋 忠兵衛 千葉県

優秀賞
レンゲ田に転ぶと僕の空になる
山本芳男 兵庫県神戸市

先輩と呼ばれて時を巻き戻す
片石志津子 福岡県

佳作

新世紀十七文字でまちおこし
村上裕子 兵庫県西脇市
雑記帳僕の本音を知りつくす
内橋美三郎 兵庫県西脇市

平手打ちされるように法話聞く
加藤友久 奈良県生駒郡
やすらぎの終着駅に母がいる
和田彰夫 福岡県筑紫野市

不揃いの形がうれしい千羽鶴
丸山はるみ 静岡県

パソコンを孫に教わるうれしさよ
池田勝行 滋賀県草津市
風呂の中九九の聞こえる新学期
岡田若雄 兵庫県西脇市

比延地区区長会長賞

むらびとの英知出しい比也野里
藤本包夫 西脇市鹿野町
子の部屋の片づきて今遠くの地
内橋香代子 西脇市合山町

年ごとに真に似てくるへそまがり
小谷てる子 西脇市堀町
比也野里まちづくり委員会会長賞
古里はへその町ですおお威張り
内橋律子 西脇市合山町

雷にパンツをあげるもみじの手
片岡ヨシ子 西脇市堀町
孫ができ سانتアタヤってくる
津田 彰子 西脇市西脇



スポットライト

比延地区老人クラブ

会長 藤原 忠雄



そこで老人クラブは何をなすべきか、皆さんと共に考える必要があります。目標としては、「健康・友愛・奉仕」をスローガンに、会員の日常生活・老人クラブ活動に、地域の特性を生かしながら高齢者の皆さんが、積極的に自らの健康を保ちながら老人クラブの活性化・互いの親睦交流の場づくりに取り組んでいただきたい。

新緑の色も一段と濃厚となり、比也野里にも稲の植付けもすみ、青田の風景を見ることが出来、初夏の気配が感じられる頃となりました。
二十一世紀に入り、少子高齢化が報道され高齢化が急速に進展し、予想発表の高齢者の人口比も幾分速くなることと思えます。

こんなのですか?

チーズはどこへ消えた? スペンサー・ジョンソン 扶桑社

「全身に力が湧いてくる、私にも何かやれるんじゃないか、何だかって乗り越えられそうな気がする」
去年十一月に出たたちまちベストセラーになったスペンサー・ジョンソンの「チーズはどこへ消えた?」を読み終えた時の感想である。

既に読んでいる人も多いと思うが、一読出来て、繰り返し繰り返し読み返せる一冊なので、ふと自分の進む道にまつきそうになった時、とまどった時に、ぜひ手にとって読んでほしいと思う。きっと何かをつかめるはず!!
私にとって心に響いたフ

ラスカル

「西山鎌製作所」は、今年で創業二十八年。若い頃は下戸田で職人として働いていた。四十歳になって独立したんですよ」と言われました。

お店をたずねて 上比延町 西山鎌製作所

「鎌は地域により型が少しずつ違うんです。このあたりは播州型を作っています。注文されるどこの地域の鎌でも作りますよ」と聞き、鎌の種類の多さに驚きました。

「大量生産で鎌を作る会社もあるが、私は昔からの技法で二丁一丁全部手作りです」と自信をもって言われたことに、ご主人の職人としての

スリランカ 青春奮闘記 Vol.2

佃順子さんが青年海外協力隊としてスリランカ(旧セイロン)へ出発して約三ヶ月たち、第一報が届きました。

「11月に来て2ヵ月半。最初の5週間はコロンボでホームステイしながら現地訓練(社会文化や語学の勉強)を受け、その後、赴任地ゴールに行きました。仕事の方はまだ授業をこなすだけで、協力隊員としての活動になっていません。今回は生活面で日本と違うところをお伝えします。」

詳しくは次回でお知らせします。どうぞお楽しみに。

熱いおもいがよく伝わってきました。

「ご主人の趣味は「旅行」。海外へも数回行かれてはいる程、旅行が大好きだそうなんです。」

後継者の息子さんと楽しく仕事をされていて、ほほえましく感じました。



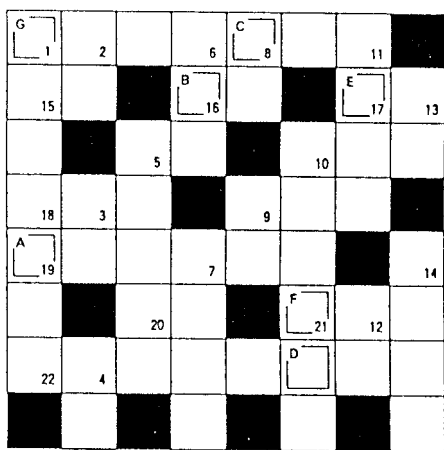
ちよつと一考

〈タテのかぎ〉

- 1 イベントなどの始まりをトランペットなどで吹く短い楽曲
- 2 岸から遠く離れた海上助さん、〇〇さん
- 3 人や荷を乗せるため馬リサイクル
- 4 ためになる忠告。〇〇〇を呈する。
- 5 田畑のあるいなか。山車
- 6 一、十、百、〇〇、万身長が頭部の長さの八倍であること
- 7 立ち寄らずにそのまま

〈ヨコのかぎ〉

- 1 多人数と一緒に踊れるレク用のダンス
- 2 ものけ姫の主人公すじみち
- 3 春、夏、〇〇、冬
- 4 戸びら
- 5 快くないこと。不愉快
- 6 不慮の出来事。事故
- 7 〇〇輪駆動
- 8 つらいこと。苦しい体験
- 9 略称レク



AからGまでの文字をつなげるとある言葉になります

歴史探訪

ある母のなげき

小学二年生の目

昭和十一年五月、突然母親から「四才の弟が病氣だ」と云う事で、二kmほど離れた田んぼにいる父にお医者さんを呼ぶようにと、着物と帯を渡され、びっくりして走りま

溝掃除をしていた父にこの事を告げましたが、五kmもあるお医者さんへ自転車で رفتたのですが、電話も車もない砂利道の時代です。その後は何も覚えていませんが、あくる日家の奥の間に弟が寝かされていました。やがて近所の人が集まってこられ、弟が死んだ事を知りました。小さい

棺が作られ、弟には若武者の柄の絹の着物を着せ、叔母からもらっていた幼稚園の帽子と、毎日引きずり廻していた祖父手作りの牛の車が入れました。父が縁側で棺に入る新しいノートや鉛筆を削りながら涙にむせんだ顔を見て始めて、私はあまりの淋しさに大声で泣きくずれているうちに、棺は家の北の坂道を墓地にかつがれていきました。何日か暮れて母は、杉葉を拾いに四才児を連れて行ったところで「ノドノド」と指で息苦しいことを訴えたのでノドを見たがなにもない。その

とき「死ぬかもしれない」と直感したそうです。赤ん坊がいたので病院へ祖母が付き添っていたが、どうせ死ぬのならこの手で抱いて死なせてやりたい!とただ一途にそれだけが気がかりであつたらしい。その日真夜中の車のブレーキ音が耳から離れないと泣きもした。

昨日はここに、おとといはここに、さきおといはと、毎日杉の木の下にいつて小さい靴の跡を見て涙にむせんだようです。

八十三才で亡くなった母の筆筒には、その四才児のたった一枚の写真が大切に保存されていきました。いままそのままだに……

最近あまりにもむごたら

比也野里日程

- 七月二日、プール遊び(比幼)
- 七月三日、四日
- 市内総合体育大会(中学)
- 七月八日、授業参観(東中)
- 七月十五日
- 比延地区子供会球技大会
- 七月十九日
- 終業式(東中・比双小・比双幼)
- 七月十八日、プール参観(比保)
- 八月十九日、愛園作業(比小比幼)
- 八月二十六日、奉仕作業(東中)
- 八月十三日
- 塚口町盆踊り(予定)
- 八月十四日、鹿野町盆踊り
- 八月十五日、中畑町盆踊り
- 八月十六日、堀町盆踊り
- 八月十七日、高嶋町盆踊り
- 八月十八日、上比延町盆踊り
- 八月十八日、西脇夏祭り
- 八月二十四日、比延町盆踊り

い幼児の事故死に、その母親たちのなげきをいくらかでも慰めたいとたく過去を探訪してみました。

赤ちゃん誕生

小沢りかちゃん

住吉町・小沢和久さんの長女

平成十三年四月二十五日

午前七時四十八分誕生

りかちゃんは、小学一年生のお兄ちゃんから久しく待ちこがれた子供で、おじいさんおばあさんと六人家族となりました。



編集後記

「へそ川柳大会」には、非常に多くの参加をして頂き大盛況の内に終わる事が出来ました。スタツフの皆さん忙し中ご苦労様でした。又、賞を貰った人が大変感激して、後日に礼状迄出して頂きましたので、スタツフ一同苦労の甲斐があつたと喜んでおります。今後機会があれば又、企画をしたいと思っております。